

H17

11月1日

掃除道

「掃除道」というタイトルは今年の8月に発売された鍵山秀三郎氏の本のタイトルです。この本では「なぜ、トイレ掃除か」の意味について5つの理由をあげ、わかりやすく解説されています。(1)謙虚な人になれる (2)気づく人になれる (3)感動の心を育む (4)感謝の心が芽生える (5)心を磨く。の5つです。

私共の事務所のことも9ページにわたって紹介されています。まだまだ形がけで身についているのに大変恐縮しております。これから仏に云々を入れます。

10月16日の日曜日に「日本を美しくする会」主催のトイレ掃除を葛飾区の桜道中学校で行いました。当日はあいにくの小雨でしたが、230人もの人が参加してくれました。中には、PTA会長、副会長様、校長、副校長先生、生徒も約50名位。うちの会計事務所からも48名の社員が参加しました。ちなみにうちでは、入社する条件、約束として入社後3年間は年2回以上トイレ掃除をすることになっています。

今回は、私、古田土が実行委員長(初めて)ですので社員に協力してもらって、道案内、炊事(カレーライス250分)、司会、音楽とうちの社員で取りました。通常は参加の少ないPTAの方々と生徒も多く参加して頂いているので、子供達が掃除の前と後でどのように変わるか楽しみにしておりました。トイレ掃除は約2時間、1つの便器を2時間かけて磨きます。最初はスポジ、次にタワシ、サウンドメッシュ、ドライバーと動具を使い分けます。終わった時には汗が(汗)とともすがすがしい気持ちになります。トイレの空気が変わりました。

掃除の後に体験発表があり、生徒さんにも4人発表して頂きました。表現力は乏しかったのですが、自分が一所懸命やったことの充実感や感動が伝わってきました。是非もう一度やりたいと言っていました。

私は次の日掃除の場を提供して下さった校長先生にお礼を言ったため学校も訪問しました。その時、門が閉かた困ったのですが、3Fの窓から昨日参加してくれた生徒が、学年と名前も言って開け方を教えてくれました。とても助かりました。職員室に案内され、入口のところで大きな声で「おはようございます」と挨拶しました。誰かでも挨拶の返事がありません。もう一度、大きな声で挨拶しました。またも返事なし。先生は5人~6人いました。知れんばかりです。この先生達は挨拶一つましても出来なくて、子供達を教育しているのかと思うと社会常識はまず先生から教育すべきだと強く思いました。次に校長室に案内され、校長先生から「昨日発表した子は普段人の前で話が出来るお存在ではない。発表したと聞いて、担任の先生も生徒達も驚いていた」という話を聞きました。校長先生も副校長先生も掃除が人を育てるのを実感され、次の11月5日も参加したと言ってくれました。

たかが掃除、されど掃除。掃除に学ぶ。人間として成長し、心に花を咲かせ、心根のやさしい人間の集団。これが会社でありたい。
古田土